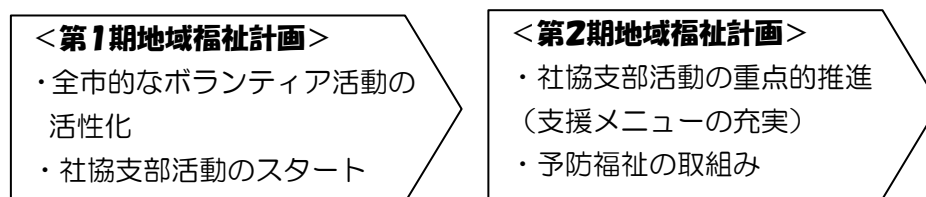


第2期戸田市地域福祉計画の概要

1. 今回の計画の基本的性格

- ① 第1期地域福祉計画を基本的に継承しながら、その後の時代状況や計画の進捗状況を受けて、部分的に見直しを行った計画です。
- ② 社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」の見直しと連携して作成し、今後、社会福祉協議会の支部活動に重点を置き、ボランティア活動との連携を図りながら、福祉コミュニティ¹づくりを推進する計画としています。

第1期から第2期の地域福祉計画へ



- ③ 町会・団体等へのアンケート調査と、5地区で行われた社協支部の地域懇談会での提案、ボランティアコーディネーターの提案など、市民意向を受けて作成しました。

2. 第1期計画の達成状況と課題

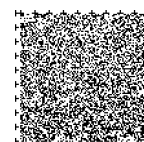
第1期の地域福祉計画では、重点プロジェクトの19事業のうち14事業は予定通り進み、全市的な福祉ボランティア活動や地域福祉活動を支援する体制（場所、情報、助成）の整備が図られ、次のような成果がみられます。

- ① 戸田市ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）、同ホームページ、やさしいまちづくり応援助成金など、支援体制が整備されました。
- ② ボランティアコーディネーターやボランティアアドバイザーなど、地域福祉を担う人材育成が進みました。
- ③ 新たに19の福祉ボランティア団体（戸田市ボランティア・市民活動支援センター登録の福祉団体43団体の37%）が生まれるなど、ボランティア活動の活性化が図られました。
- ④ 46町会・自治会の全てに設置された社協支部のうち、31支部の支部活動活性化事業に対して支援が行われ、地域福祉活動が進みました。

3. 第2期計画の特徴

- ① 第2期の地域福祉計画では、地域に重点を移し、社会福祉協議会の支部が中心となり、ボランティア活動と連携し、町会・自治会や地区での地域福祉

¹ 社会的な支援が必要な要援護者が、コミュニティ（地域社会）の一員として受け入れられ、地域活動に参加・活躍でき、地域で生活して必要な時に支援を受けることができる、ふれあいと助け合いのあるコミュニティを指します。狭い意味では、要援護者同士の集まり（コミュニティ）や福祉ボランティア団体などを指します。



活動の推進を図る計画とします。

- ② 本計画は、市民が困った時にお互いに助けあったり、福祉サービスを有効に使えるようにする福祉計画であると同時に、「予防福祉²」の観点に立って、ふれあいと助け合いのあるコミュニティづくりの推進を図ります。
- ③ 地域で市民同士の繋がりの薄い戸田市の現状から、地域で誰もが参加しやすい「福祉サロン（子育てサロン、子どもサロン、高齢者サロン、障害者サロン、健康サロンなどの居場所づくり）」の促進を図り、助け合いのある「福祉コミュニティ」づくりをめざす地域福祉計画としています。

4. 社協との連携

- ① 社会福祉協議会の支部を地域福祉活動の中心組織として位置づけ、市は必要な支援を行います。
- ② 社協の支部活動の促進に向けて、市は引き続き、優れた取組み事例の紹介、地域福祉活動助成金、地域福祉コーディネーターの育成などの支援を行うとともに、「福祉サロン」活動の推進に向けて支援メニューの充実を図ります。

5. 新規追加事業

- ① 福祉センター再整備事業
上戸田福祉センターの再整備を具体的に盛り込みました。
- ② 福祉サロン活動促進事業
社協支部活動として、誰でも参加できる、子育てサロンや高齢者サロン、障害者サロン、健康サロンなどの福祉サロン（居場所）活動を位置づけました。
- ③ 地域防犯・減災活動促進事業
子どもたちの見守りや災害時要援護者の減災活動、救助・避難支援の取組みを社協の支部活動として位置づけました。

² 地域において、住民同士のきずなを深めて孤立化を防止し、積極的に地域活動に参加することにより要援護者になることを予防するとともに、援護が必要となった時に、地域で助け合える福祉コミュニティづくりを指します。福祉を抑制するという考え方ではなく、必要とする人により福祉が厚くなるよう、地域の活動により要援護者を減らすとともに、共に支え合う福祉コミュニティづくりを行います。

